

東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化

【生産基盤の復旧と被災した農林漁業者への支援】

- 被災した農地、農業用施設、漁場、林道、海岸防災林、共同利用施設等の復旧を進めます。
- 個人や共同利用の施設、機械、漁船等の整備を進めるとともに、ほ場整備と一体的な農地集積など、農林水産業の面的再開を推進します。
- 農業用ダム・ため池等の放射性物質対策を進めるとともに、森林整備とその実施に必要な放射性物質対策を一体的に進めます。

【避難地域等における農林水産業の復興の加速化】

- ICT等の農林水産業の先端技術の開発・実証、現場への普及を進めます。
- 被災12市町村等において、農業への企業参入を促進するとともに、農地中間管理機構のコーディネーター配置等により担い手への農地集積を加速します。
- 生産、加工等が一体となった高付加価値生産等を広域的に展開する産地の創出を支援し、営農再開を加速します。
- 水産資源を管理しながら少ない労力で高収益をあげる「ふくしま型漁業」実現に向けた取組を推進します。

【風評の払拭】

- 効果的な情報発信、県産農林水産物の販路拡大の取組に加え、新品種の開発や機能性、おいしさ等の追求によるブランド力の向上や安定した産地の供給体制の整備などにより、風評を要因とした価格水準低下の固定化を打破し、「ふくしま」ならではのブランド確立を進めます。
- 輸入停止や輸入規制措置を課している国・地域に対して安全確保の取組や魅力等を発信します。



放射性物質対策を踏まえた森林整備



被災地域における先端技術の実証



トップセールスによる販売促進

多様な担い手の確保・育成

【農業担い手の確保・育成】

- 就農支援情報の発信、就農コーディネーターの配置等により受入体制を整備するなど、新たな担い手となる新規就農者の確保・育成を図ります。
- また、有機農業に特化した就農支援体制を整備します。
- 浜通り地域等において農繁期等に必要な労働力を確保・供給するモデルを実証します。
- 地域農業の将来像を描く「人・農地プラン」の作成とその実現に向けた取組を支援します。
- アグリカレッジ福島（農業短期大学校）の統合施設の整備や機能強化を進めます。

【林業担い手の確保・育成】

- 林業研修拠点「林業アカデミーふくしま」において、長期研修を開講するとともに、研修施設の整備を進めます。

【漁業担い手の確保・育成】

- 新たに就業する漁家子弟等を対象に長期研修や経営・技術向上、就業に必要な漁船・漁具の導入等を支援します。



ふくしま農業人フェア



林業研修拠点施設のイメージ

生産基盤の確保・整備と試験研究の推進

【生産基盤の整備】

- ほ場の大区画化・汎用化と担い手への農地の利用集積を進め、経営規模の拡大を図ります。
- 農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る戦略的な保全管理を進めます。

【戦略的な新品種・新技術の開発】

- 「ふくしま」ならではの価値向上に資するオリジナル品種や、県産農林水産物の旨みや機能性が見える化技術の開発など、本県農林水産業の生産力・競争力強化のための研究開発を進めます。
- 本県農業・林業・水産業の復興に寄与するICT等の先端技術の開発や実証研究を実施します。



大区画ほ場整備



イチゴ新品種「福島ST14号」

需要を創出する流通・販売戦略の実践

【安全と信頼の確保】

- モニタリング等による安全確保に取り組むとともに、県内外の消費者、流通関係者に「伝わる」わかりやすい情報発信を行います。
- GAPの認証取得拡大を進めるとともに、GAPへの消費者や流通関係者の認知度向上を図り、県産農林水産物への信頼を高めます。

【戦略的なブランディング、消費拡大と販路開拓】

- 県オリジナル水稲品種「福、笑い」のプロモーションなど、オリジナル米や福島牛等のブランド化に向けた取組を進めます。
- 県産花きの地域内利用を促進するとともに、新植・改植推進による安定供給体制の整備に取り組みます。
- 旬を捉えた量販店におけるフェアやオンラインストアによる販売促進等により、多様な販路の確保・拡大につなげます。
- マスメディアやSNSなど多様な媒体を活用した情報発信により、国内外の消費者等に県産農林水産物の魅力や生産者の誇りを発信します。
- 大手量販店等での県産水産物の常設棚設置や、県産水産物のブランド力強化や流通拡大を図る実証への支援等により、県産水産物の競争力を強化します。



「福、笑い」デビューイベント



量販店に常設棚設置「福島鮮魚便」

戦略的な生産活動の展開

【生産力の強化】

- ロボット・AI・ICT等の先端技術を活用したスマート農業や革新技術の導入により、生産性向上による産地の生産力・競争力強化を図ります。
- 環境保全型農業の新規取組者の確保や取組拡大を目的に、技術指導や優良技術の表彰、地域ぐるみの取組の支援等に取り組みます。
- 主食用米から畑作物や非主食用米等へ転換を強力に進め、水田をフルに活用した水田農業経営の安定化を図ります。

【競争力の強化】

- 「福、笑い」等の食味・品質向上の取組や「福乃香」等県産酒造好適米の品質向上・安定生産の取組など、県オリジナル水稲品種を中心とした多様な米づくりを進めます。
- 有機農業の取組拡大と有機農産物への理解促進、供給体制を支援します。
- 担い手育成・販売額向上等の地域のモデルとなる園芸生産拠点の育成を支援します。
- 県育成いちごの品種登録等と併せ、作付実証等によるスピード感を持った生産拡大・PR等を一貫して実施します。
- AIを活用した肉質評価システムを整備するとともに優良素牛の導入を支援し、「福島牛」のブランド力を強化します。



園芸生産拠点のイメージ



AIを活用した肉質診断

活力と魅力ある農山漁村の創生

【農林水産業・農山漁村が有する多面的機能の維持・発揮と県民への理解促進】

- 地域ぐるみで取り組む農地の保全管理等の活動への支援や森林整備の推進など、農林水産業・農山漁村が有する多面的機能の維持・発揮に資する取組を進めます。
- 地域農業の将来ビジョンづくり及び地域内外の住民による交流等を通じた地域農業の活性化に資する取組を支援します。
- 農山漁村、森林の多面的機能や地域資源についての情報発信を行うとともに、本県独自の植樹祭の開催等により、農山漁村への理解を促進します。

【快適で安全な農山漁村づくり】

- 鳥獣被害軽減のための地域ぐるみでの総合的な対策や、専門職員の確保・育成などの取組を支援します。
- 防災重点農業用ため池の改修工事や劣化状況評価等の調査を進め、住民の安全確保を図ります。
- 山崩れ、地すべりなど山地に起因する災害から県民の生命・財産を保護する治山施設の整備を推進します。

【地域資源を活用した取組の促進】

- 「ふくしま満天堂」の取組を通じた販路拡大や意欲ある人材の育成、地域ぐるみの商品開発など、豊かな農林水産資源を活用した地域産業6次化を推進します。



鳥獣被害対策の専門職員の活動



「ふくしま満天堂」グランプリ表彰式